



- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. AccelDocuments 連携について
 - 3.1. AccelDocuments ファイルアップロード連携機能の概要
- 4. AccelDocuments 連携のセットアップ方法
 - 4.1. プロジェクトの作成とモジュールの選択
- 5. AccelDocuments 連携の設定方法
 - 5.1. 「ファイルアップロード」を設定した IM-FormaDesigner のアプリケーションの作成
 - 5.2. IM-FormaDesigner アプリケーションと連携するワークフローの作成
 - 5.3. AccelDocuments 連携でファイルをアップロードするためのキャビネットやフォルダへの権限設定
 - 5.4. AccelDocuments 連携管理画面の操作手順
 - 5.5. AccelDocuments 連携管理画面の高度な設定
- 6. AccelDocuments 連携の設定を行ったフローで申請・承認を行う方法
 - 6.1. 申請画面で添付したファイルを AccelDocuments に登録する
- 7. 付録
 - 7.1. IM-FormaDesigner / AccelDocuments 属性対応表
 - 7.2. AccelDocuments 連携の設定情報のエクスポート

変更年月日	変更内容
2015-03-13	初版
2017-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「IM-FormaDesigner / AccelDocuments 属性対応表」で対応していないデータ型の記述を削除しました。▪ 「「ファイルアップロード」を設定した IM-FormaDesigner のアプリケーションの作成」にファイルアップロードのカラム拡張に関する説明を追加しました。
2019-04-19	第3版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「AccelDocuments 連携管理画面の高度な設定」に画面アイテム「スプレッドシート」に関するコラムを追加しました。

項目

- 本書の目的
- 対象読者
- 本書の構成

本書の目的

本書では AccelDocuments 連携の機能概要と操作方法について説明します。

対象読者

次の利用者を対象としています。

- 開発した IM-FormaDesigner のファイルアップロードと AccelDocuments の連携情報を設定するアプリケーション作成管理者、作成者

また、本機能の利用にあたっては、下記3製品に対する基本操作を理解していることを前提としております。
各製品の詳細については、各製品のドキュメントを参照してください。

- IM-Workflow (intra-mart Accel Platform)
- IM-FormaDesigner for Accel Platform
- intra-mart Accel Documents

本書の構成

本書の構成は以下の通りです。

- [AccelDocuments 連携について](#)
AccelDocuments 連携の概要について説明します。
- [AccelDocuments 連携のセットアップ方法](#)
AccelDocuments 連携のセットアップ方法について説明します。
- [AccelDocuments 連携の設定方法](#)
Formaアプリ作成者、Formaアプリ作成管理者向けに AccelDocuments 連携の設定方法について説明します。
- [AccelDocuments 連携の設定を行ったフローで申請・承認を行う方法](#)
一般利用者向けに AccelDocuments 連携の操作方法について説明します。

AccelDocuments ファイルアップロード連携機能の概要

「AccelDocuments ファイルアップロード連携」は、intra-mart Accel Documents への文書のアップロードを行うことができる機能です。

この機能は、IM-Workflow の案件終了時に、IM-FormaDesigner のファイルアップロードに添付したファイルを AccelDocuments の文書としてアップロードすることができます。

AccelDocuments 連携設定時に、「高度な設定」を行うと、アップロード対象の文書やアップロード先のフォルダのクラスに対して、Forma のアイテムと属性との連携情報を設定することができます。



i コラム

- ファイルアップロード連携機能は、案件が「承認」、「承認終了」、「案件操作」で完了した場合に intra-mart Accel Documents の文書として、ファイルアップロードのファイルを登録します。「否認」や「取止め」などで終了した場合には、登録されません。

i コラム

- AccelDocuments へのアップロード対象となる IM-FormaDesigner のファイルアップロードの添付ファイルは、「ファイルアップロード」アイテム単位で、AccelDocuments へのアップロード有無を設定することができます。

i コラム

- AccelDocuments にアップロードを行うと、AccelDocuments 連携設定で指定したドロワ・フォルダ配下に新規フォルダを作成し、そのフォルダ内の文書として、IM-FormaDesigner のファイルアップロードに添付したファイルを登録します。この際、AccelDocuments のフォルダは「(標準の) フォルダクラス」、文書は「(標準の) 文書クラス」としてアップロードされます。高度な設定を行うと、AccelDocuments のアップロード時に、アップロード先のフォルダやアップロードする文書に、AccelDocuments で独自に作成したクラスや属性を設定することができます。

AccelDocuments 連携のセットアップの基本的な操作手順については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」を参照してください。

本項では、IM-FormaDesigner、AccelDocuments 連携に特化した手順について説明します。

また、セットアップを行う際には IM-FormaDesigner や AccelDocuments のセットアップガイドもあわせて参照してください。

注意

AccelDocuments 連携のセットアップにあたっての前提条件

AccelDocuments 連携のセットアップを行う場合には、下記の前提条件を満たしている必要があります。

- **IM-FormaDesigner** と **IM-Workflow** のフローで利用する場合、以下のアプリケーション（モジュール）が設定されていること
 - IM-Workflow
 - IM-FormaDesigner for Accel Platform
 - IM-FormaDesigner AccelDocuments 連携モジュール
 - intra-mart Accel Documents
- **IM-BIS** のフローで利用する場合、以下のアプリケーション（モジュール）が設定されていること
 - IM-Workflow
 - IM-FormaDesigner for Accel Platform
 - IM-BIS for Accel Platform
 - IM-FormaDesigner AccelDocuments 連携モジュール
 - intra-mart Accel Documents

プロジェクトの作成とモジュールの選択

項目

- [IM-Juggling のインストール](#)
- [プロジェクトの新規作成](#)
- [アプリケーションの追加](#)

IM-Juggling のインストール

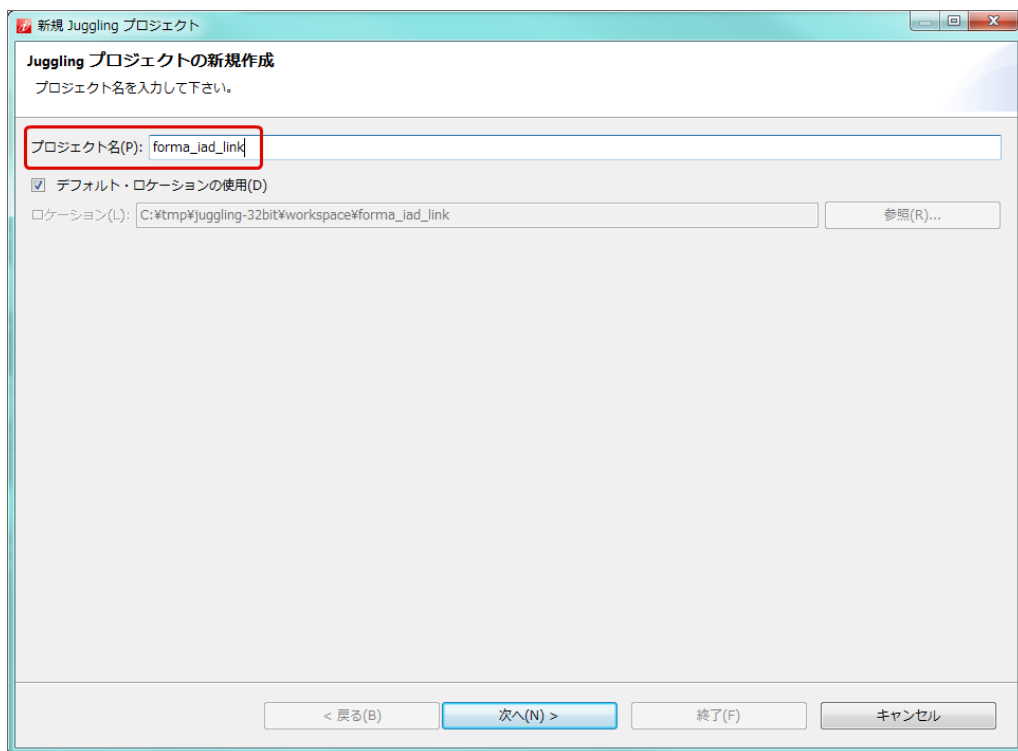
「IM-Juggling のインストール」については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」を参照してください。

プロジェクトの新規作成

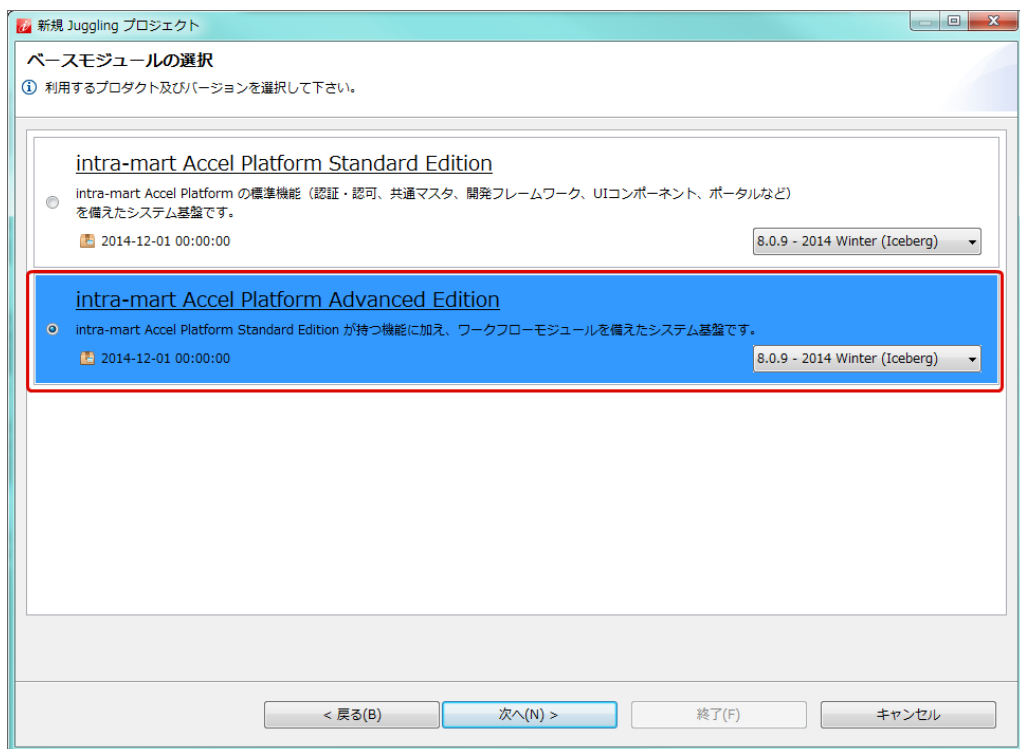
1. 展開したディレクトリ直下にある、**juggling.exe** を起動します。
2. 初回起動時の場合、「使用許諾契約書の同意」が表示されます。
「同意する」を選択し「OK」をクリックします。
3. ダッシュボードが表示されます。
「プロジェクトを新規に作成する」を選択します。



4. ポップアップ表示されたウィザード画面内の「プロジェクト名」に半角英数字の任意のプロジェクト名を入力します。入力後、「次へ (N)」 をクリックします。

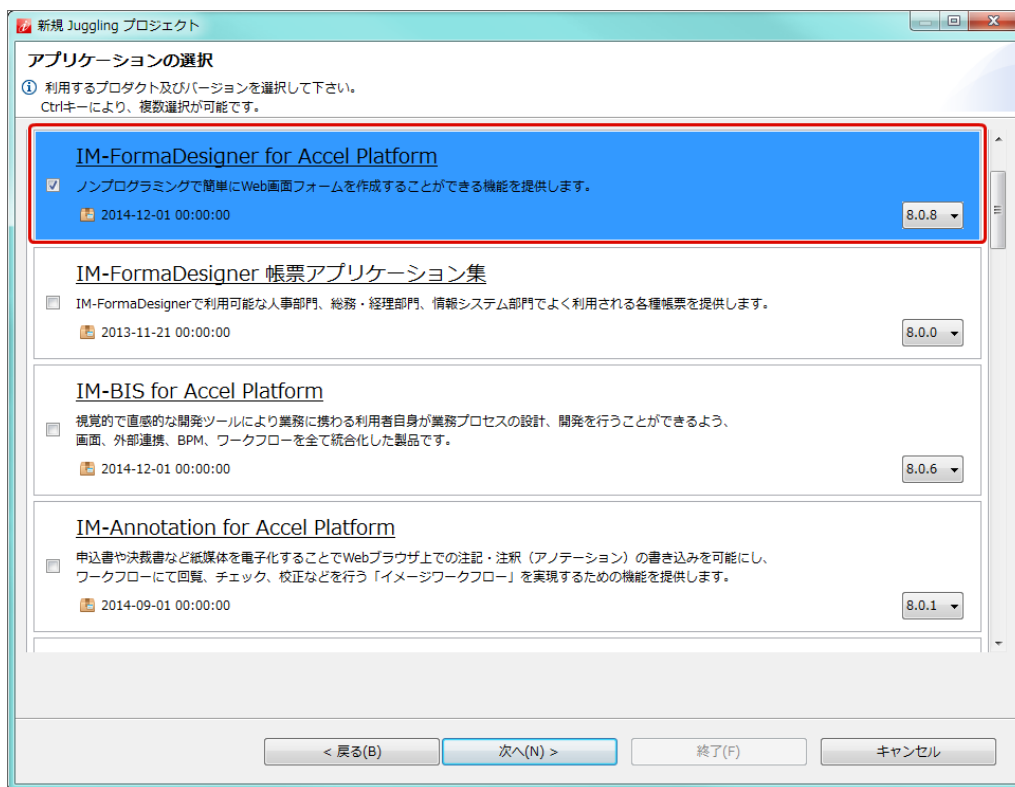


5. 利用するプロダクトで「intra-mart Accel Platform Advanced Edition」を選択します。選択後、「次へ (N)」 をクリックします。

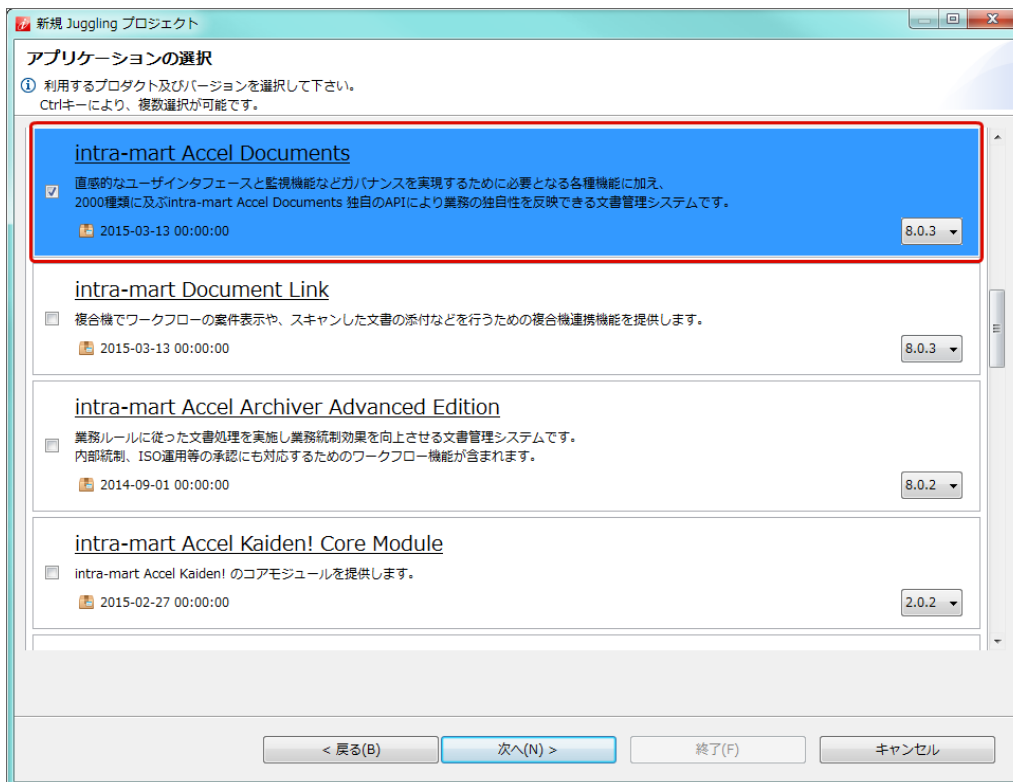


6. 利用するアプリケーションでは、「IM-FormaDesigner for Accel Platform」「intra-mart Accel Documents」「IM-FormaDesigner AccelDocuments 連携モジュール」を選択します。
 選択後、「次へ (N)」をクリックします。

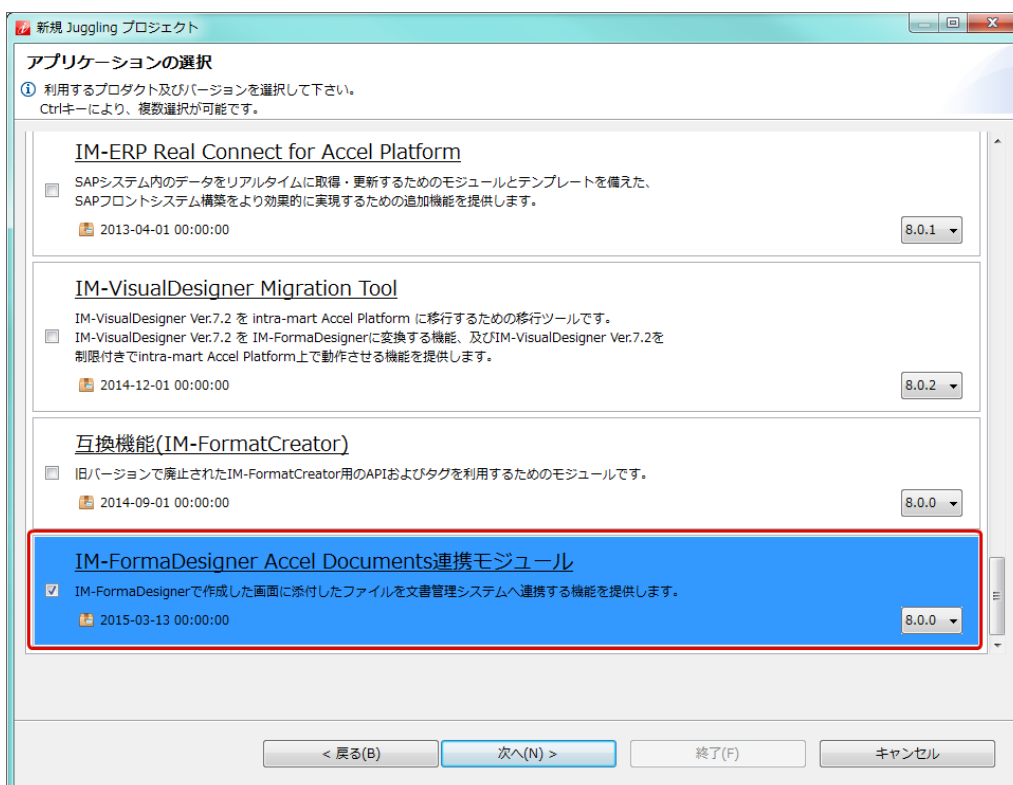
- IM-FormaDesigner for Accel Platform



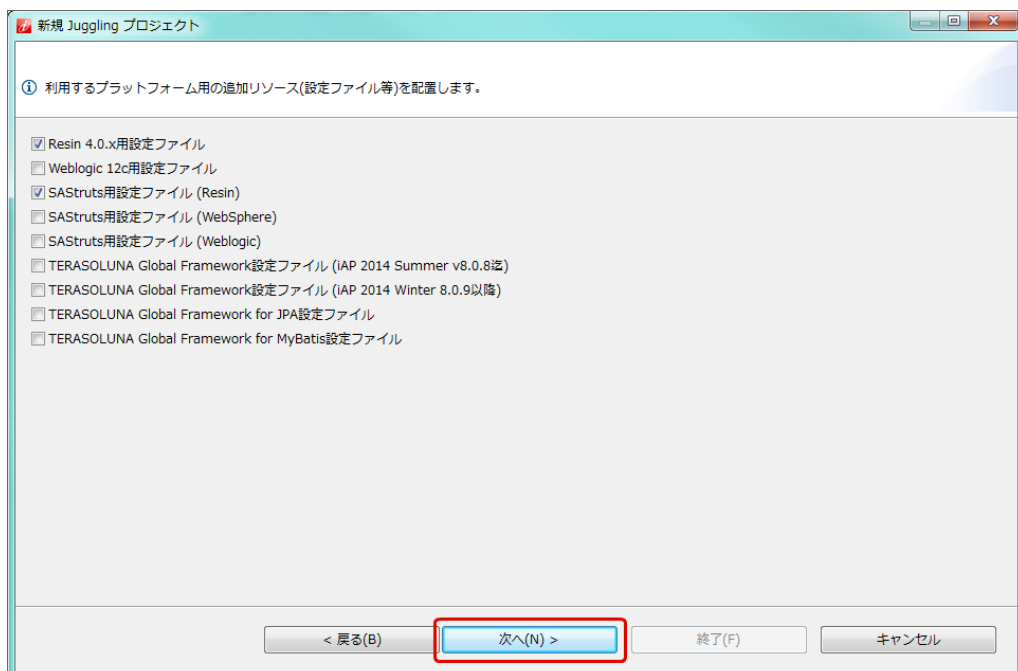
- intra-mart Accel Documents



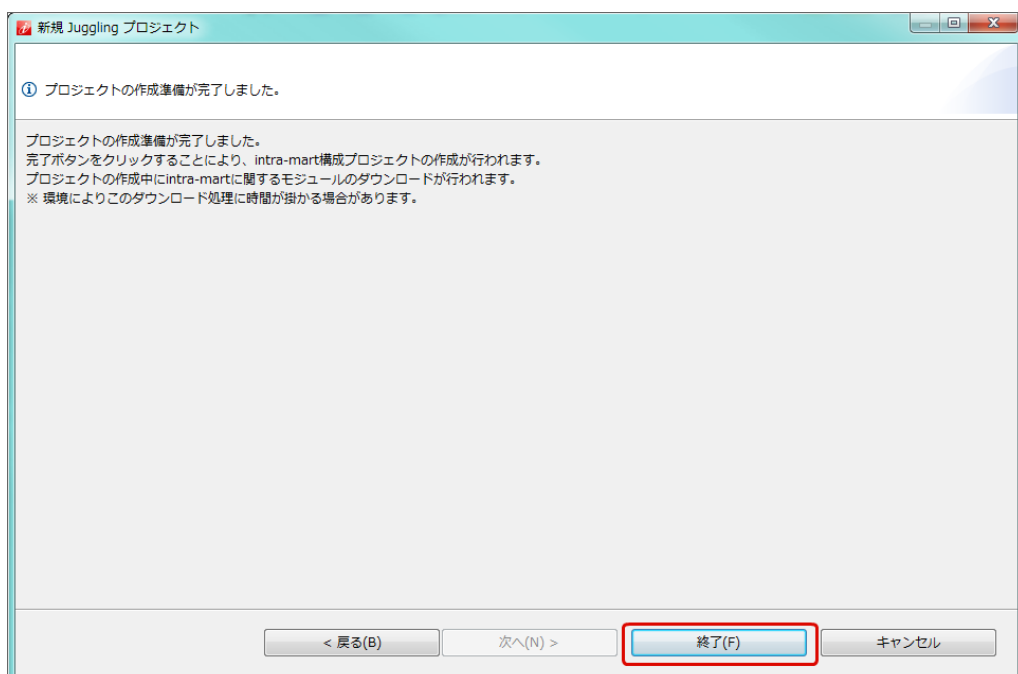
- IM-FormaDesigner AccelDocuments 連携モジュール



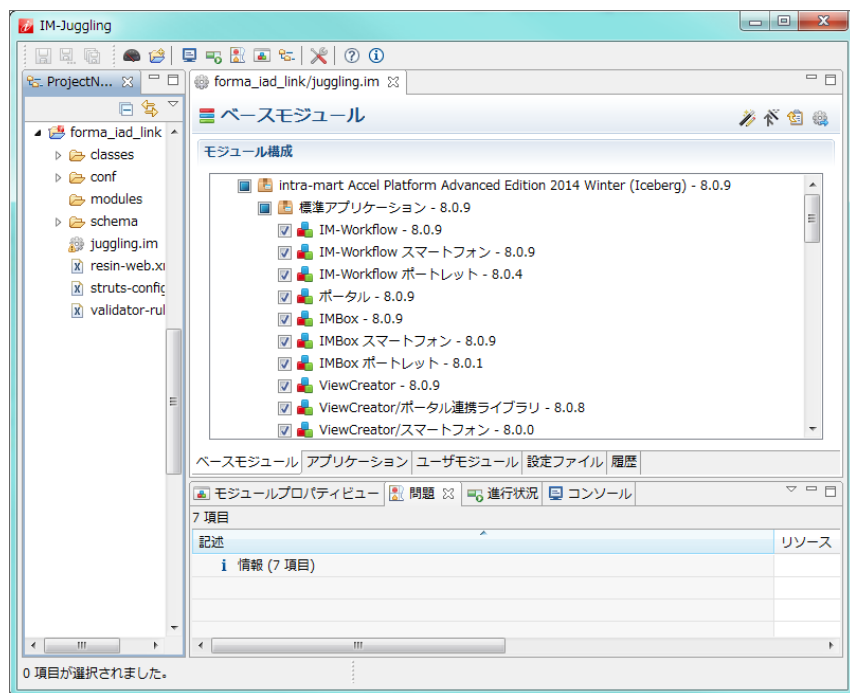
7. 利用するプラットフォーム用の追加リソース（設定ファイル等）を選択します。
選択後、「次へ（N）」をクリックします。



8. 最後に「終了 (F) 」をクリックします。



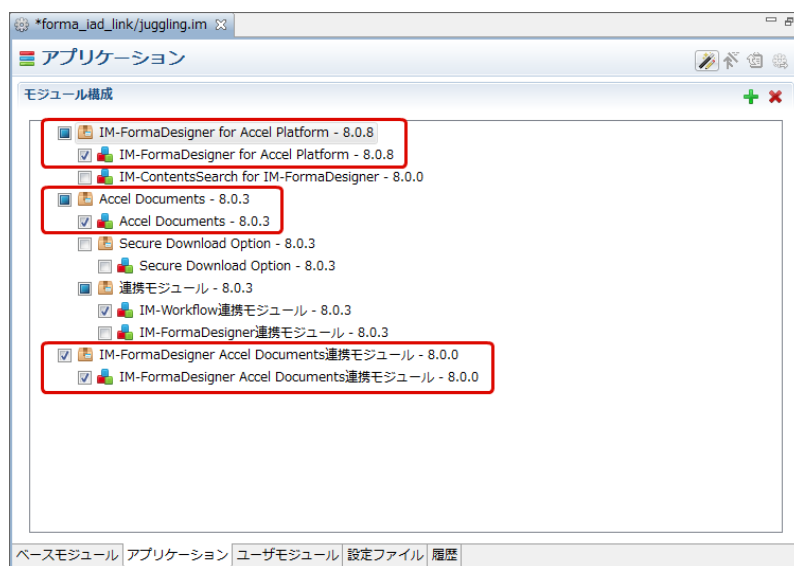
9. プロジェクトの作成処理が行われ、完了すると以下の画面が表示されます。



アプリケーションの追加

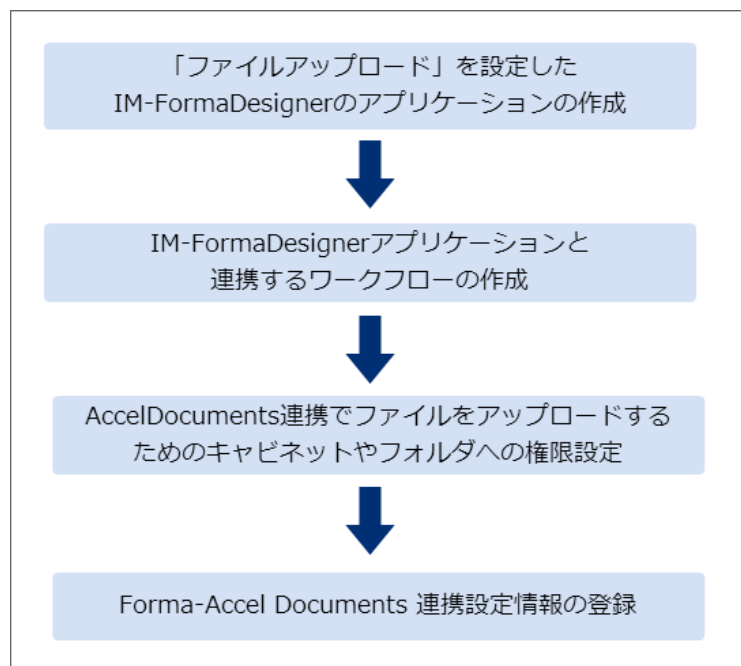
プロジェクト作成後、アプリケーションを追加することができます。

1. 「アプリケーション」タブで、以下のモジュールを選択します。
 - IM-FormaDesigner for Accel Platform
 - AccelDocuments 連携機能
 - intra-mart Accel Documents



以降は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」に基づいて各種設定ファイルの編集・warファイルの作成を行い、アプリケーションサーバに展開してください。

AccelDocuments 連携管理画面では、IM-FormaDesigner のファイルアップロード、IM-Workflow のフローと AccelDocuments へのアップロード先フォルダとの関連付けや文書登録時の属性情報を設定することができます。
 AccelDocuments 連携を設定するためには、以下の4段階で設定を行います。



AccelDocuments 連携の設定では、IM-FormaDesigner、IM-Workflow、AccelDocuments、Forma-AccelDocuments 連携設定を順に設定しますが、各機能と設定の関連は、以下の図の通りです。



「ファイルアップロード」を設定した IM-FormaDesigner のアプリケーションの作成

AccelDocuments と IM-FormaDesigner のワークフローを連携するためには、IM-FormaDesigner のフォームに「ファイルアップロード」を配置しておく必要があります。

IM-FormaDesigner のアプリケーションの作成については、「[IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)」を参照してください。

**注意**

連携対象のファイル名の上限值は AccelDocuments の仕様に基づいています。

「[コラムサイズの拡張](#)」を行う場合、AccelDocuments の制限を超過するとエラーによりファイルが連携されません。下記リンク先を参照の上、適切な設定を行うようにしてください。

- 「[intra-mart Accel Documents インポート・エクスポートガイド](#)」 - 「[コンテンツの属性](#)」 - kn:objectName

IM-FormaDesigner アプリケーションと連携するワークフローの作成

先の手順で作成した IM-FormaDesigner のアプリケーションで作成したコンテンツ定義をワークフローに連携するための設定を行います。作成したコンテンツ定義をワークフローに連携する手順は、「[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

AccelDocuments 連携でファイルをアップロードするためのキャビネットやフォルダへの権限設定

AccelDocuments 連携で、案件終了時にファイルをアップロードするための設定を行うためには、アップロード先のキャビネットやフォルダへの権限設定を行います。

AccelDocuments 連携情報を設定するユーザには、下記の権限（アクセス権）を付与してください。

- IM-FormaDesigner のアプリケーションが作成できる（「Formaアプリ作成管理者」、または「Formaアプリ作成者」のロールの付与）
- ファイルのアップロード先のドロワ・フォルダを含むキャビネットの管理者
- ファイルのアップロード先のドロワ・フォルダ（設定画面では「格納先フォルダ」で表示される対象）へのアクセス権（読み取り権、書き込み権、管理権のいずれか）
- AccelDocuments のアプリケーションライセンス

AccelDocuments 連携設定を行ったフローから申請や承認を行ってファイルのアップロードを実行する場合には、対象のフローの申請権限者に以下の権限を付与してください。

- 対象のフローの申請ノードに対する処理対象者の設定
- AccelDocuments 連携設定で指定した格納先フォルダ（ドロワ・フォルダ）を含むキャビネットの利用者設定
- AccelDocuments 連携設定で指定した格納先フォルダ（ドロワ・フォルダ）に対するアクセス権（書き込み権）

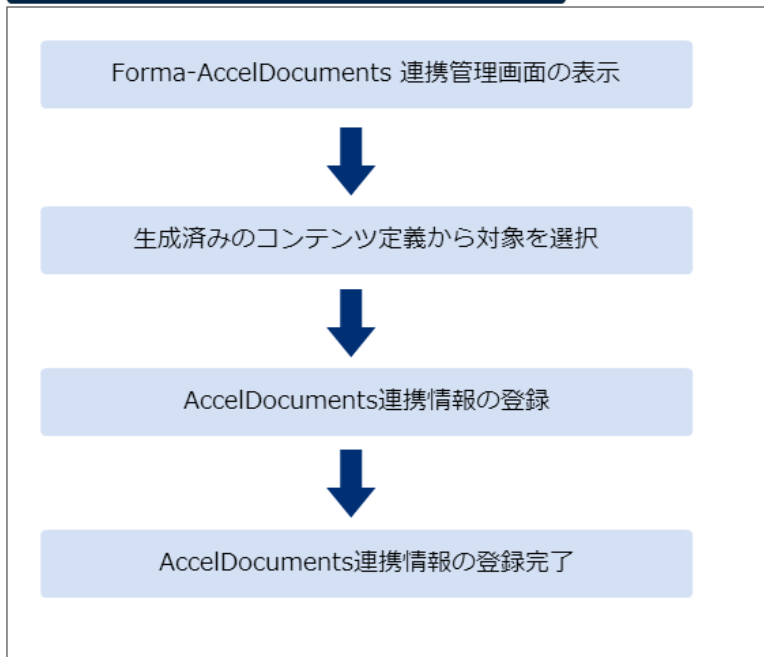
AccelDocuments のキャビネットやドロワ・フォルダの設定については、「[intra-mart Accel Documents キャビネット操作ガイド](#)」を参照してください。

AccelDocuments 連携管理画面の操作手順

AccelDocuments 連携管理画面で、アプリケーションと AccelDocuments への格納先フォルダや属性情報を設定する手順を説明します。

基本的な操作手順は、以下の流れです。

Forma-AccelDocuments 連携設定情報の登録



この手順では、以下の図の の設定を行います。

設定の概要

ファイルアップロードと設定するフローの設定

アップロード先のドロフ・フォルダの設定

アップロード時にフォルダや文書に設定する属性

IM-FormaDesigner Forma-AccelDocuments 連携 intra-mart AccelDocuments

Forma-AccelDocuments 連携管理画面の表示

1. 「サイトマップ」→「Forma- AccelDocuments 連携管理画面」→（「Formaアプリ作成」または「Formaアプリ作成管理」）→「アプリ一覧」をクリックします。



コラム

- 「Formaアプリ作成」から操作したい場合には、対象のユーザに「Formaアプリ作成者」のロールが付与されている必要があります。
- 「Formaアプリ作成管理」から操作したい場合には、「Formaアプリ作成管理者」のロールが付与されている必要があります。

2. AccelDocuments の連携の設定対象のアプリケーションの「編集」アイコンをクリックします。

編集	アプリケーションID	最新バージョン	アプリケーション名	備考	対象ロケール	アプリケーション種別
	sample_address_chg	1	【サンプル】住所等変更届	IM-Workflow連携用の申請書サンプル	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	sample_bihin_mochi_dashi	1	【サンプル】備品持出申請書	一覧選択アイテムを利用した一般的な申請書サンプル	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	sample_iad_1	1	iADサンプル1		日本語	IM-Workflow
	sample_purchase_application	1	【サンプル】備品購入申請(IMW)	IM-Workflowで利用できる備品購入申請のサンプルです。	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	sample_ringi	1	【サンプル】稟議書	ファイルアップロードアイテムがある、シンプルな申請書サンプル	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	test_iad_app	1	iADサンプル2		日本語	IM-Workflow

生成済みのコンテンツ定義から対象の選択

- アプリケーションから生成済みのコンテンツ定義が表示されますので、「編集」をクリックします。

WF連携設定

←

アプリケーションID: sample_ringi
アプリケーション名: 【サンプル】稟議書

WF連携設定

コンテンツ名: 検索 クリア

コンテンツ

編集	コンテンツID	コンテンツ名	備考	設定済み
	con_ringi	【サンプル】稟議書		



コラム

事前に「WF連携設定」からコンテンツ定義を生成していない場合には、一覧には表示されません。

- コンテンツ連携情報で「登録」をクリックします。

コンテンツ連携情報

←

アプリケーションID: sample_ringi
アプリケーション名: 【サンプル】稟議書
コンテンツID: con_ringi
コンテンツ名: 【サンプル】稟議書

AccelDocuments連携設定

登録

編集	アプリケーション履歴番	項目	フォルダ	フロー	有効日付(開始)	有効日付(終了)

AccelDocuments 連携情報の登録

- 連携設定の有効期間を指定します。

AccelDocuments連携設定登録

有効日付(開始) * 2015/03/01

有効日付(終了) 2015/03/31

Forma/IM-Workflow情報

アプリケーション履歴番号 * 1

フォーム * メインフォーム | 5i0sn7fu883af9j

項目 * ファイルアップロード | cefomdqcoeca

フロー *

AccelDocuments情報

キャビネット * サンプルキャビネット

格納先フォルダ *

高度な設定

登録

- 有効期間

AccelDocuments 連携情報に基づいて、案件終了時にファイルをアップロードできる期間を設定します。

本機能では、アプリケーションのバージョン等に関係なく、2015年1月～3月には、フォルダ〇〇へ格納するといった形で、案件の時期に合わせて格納先フォルダを変更するなどの目的で切り替えることができます。

2. 「Forma/IM-Workflow情報」で、アプリケーション履歴番号・対象のフォーム・フォーム上のファイルアップロードアイテム・対象のフロー定義を指定します。

AccelDocuments連携設定登録

有効日付(開始) * 2015/03/01

有効日付(終了) 2015/03/31

Forma/IM-Workflow情報

アプリケーション履歴番号 * 1

フォーム * メインフォーム | 5i0sn7fu883af9j

項目 * ファイルアップロード | cefomdqcoeca

フロー * 【サンプル】案件書

AccelDocuments情報

キャビネット * サンプルキャビネット

格納先フォルダ *

高度な設定

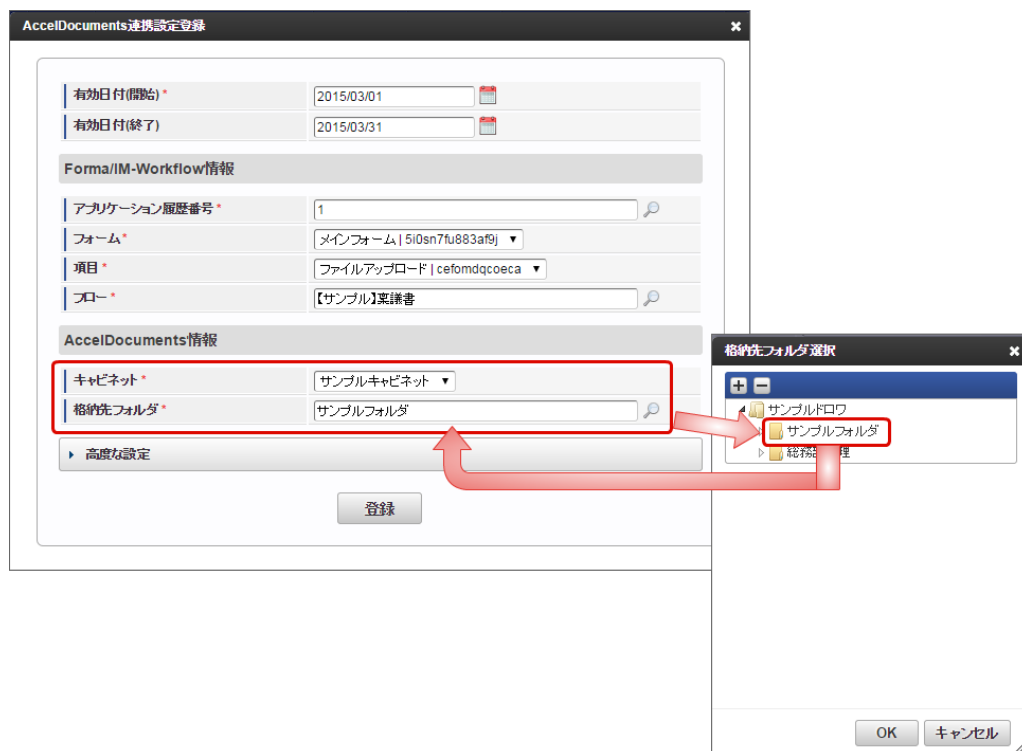
登録

コラム

- 対象のコンテンツ定義を参照するフロー定義が存在しない場合には、設定できませんので、フロー定義を事前に設定してください。
- 設定対象のフォームには、「ファイルアップロード」を配置する必要があります。

3. 「AccelDocuments 情報」で、キャビネットと格納先のフォルダを指定します。

格納先のフォルダは、この画面からの新規作成はできませんので、あらかじめ「AccelDocuments」の「文書管理」で作成しておきます。



4. 設定し終わったら「登録」をクリックして保存します。
更新の場合、「更新」をクリックします。



5. 以上で、AccelDocuments 連携でのファイルアップロードを連携するための設定ができました。

i コラム

AccelDocuments連携の設定の優先順位

複数の AccelDocuments 連携の設定情報が存在する場合には、「アプリケーション履歴番号の降順」に基づいて判断し、順位が最も高いものが有効なものとして扱われます。

i コラム

IM-FormaDesigner AccelDocuments 連携設定の追加・削除は、申請中の案件には反映されませんので注意してください。

! 注意

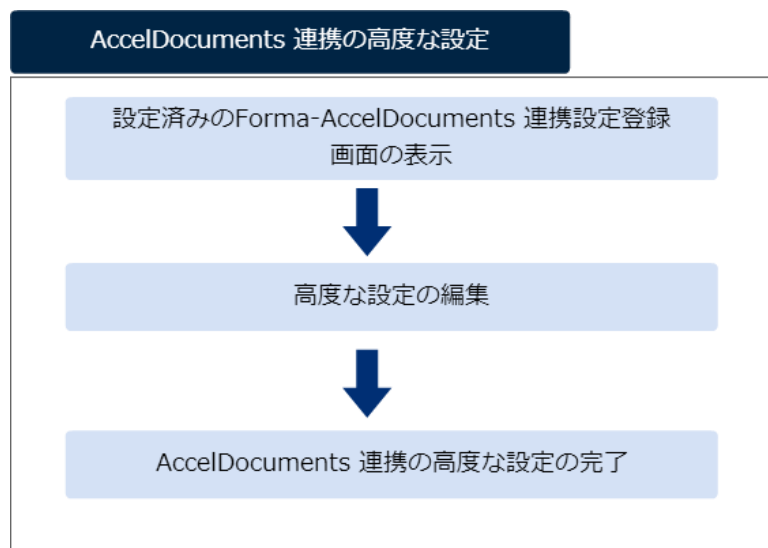
AccelDocuments 連携を設定したフロー定義を削除する場合には、先に「AccelDocuments 連携設定」を削除してからフロー定義を削除するようにしてください。

先にフロー定義を削除した場合には、該当のアプリケーション（コンテンツ連携情報）の「AccelDocuments 連携設定」の一覧を表示することができません。

AccelDocuments 連携管理画面の高度な設定

AccelDocuments 連携管理画面の「AccelDocuments 連携設定編集」では、「高度な設定」から登録対象のファイル（文書）や格納フォルダのクラスに対して、Formaのアイテムと属性との連携情報を設定することができます。

高度な設定を行うための手順は、以下の通りです。



この手順では、以下の図の の設定を行います。

設定の概要

この図は、設定の概要を示しています。左側の黄色い領域は「IM-FormaDesigner」で、「ファイルアップロードと設定するフローの設定」が行われます。中央のピンク領域は「Forma-AccelDocuments 連携」で、「高度な設定」タブが選択され、フォルダや文書の属性が設定されます。右側の緑色領域は「intra-mart AccelDocuments」で、「アップロード先のドロフ・フォルダの設定」が行われます。

設定済みのForma-AccelDocuments 連携設定登録画面の表示

1. 「サイトマップ」→「Forma- AccelDocuments 連携管理画面」→（「Formaアプリ作成」または「Formaアプリ作成管理」）→「アプリ一覧」をクリックします。
2. 「AccelDocuments 連携設定編集」を表示し、「高度な設定」をクリックします。

AccelDocuments連携設定編集

有効日付(開始) 2015/03/01
 有効日付(終了) 2015/03/31

Forma/IM-Workflow情報

アプリケーション履歴番号 1
 フォーム メインフォーム | 5f0sn7fu883af9j
 項目 ファイルアップロード | cefomdqcoeca
 フロー 【サンプル】業務書

AccelDocuments情報

キャビネット サンプルキャビネット
 格納先フォルダ サンプルフォルダ

▶ 高度な設定

更新 削除

高度な設定の編集

1. フォルダのクラスや文書のクラスを選択し、「検索」をクリックします。

AccelDocuments連携設定編集

有効日付(開始) 2015/03/01
 有効日付(終了) 2015/03/31

Forma/IM-Workflow情報

アプリケーション履歴番号 1
 フォーム メインフォーム | 5f0sn7fu883af9j
 項目 ファイルアップロード | cefomdqcoeca
 フロー 【サンプル】業務書

AccelDocuments情報

キャビネット サンプルキャビネット
 格納先フォルダ サンプルフォルダ

▼ 高度な設定

フォルダ

フォルダのクラス
 フォルダの属性とFormaアイテム連携設定 検索 選択した設定をクリア

文書

文書のクラス
 文書の属性とFormaアイテム連携設定 検索 選択した設定をクリア

更新 削除

コラム

AccelDocuments のクラスが登録されていない場合には、検索しても何も表示されません。

クラスの設定方法については、「[intra-mart Accel Documents キャビネット操作ガイド](#)」の「[文書やフォルダをクラスで管理する](#)」を参照してください。

2. 「AccelDocuments 属性/Formaアイテム連携設定」から属性と対応させるFormaのアイテムを設定し、「決定」をクリックします。

AccelDocuments属性/Formaアイテム連携設定

キャビネット	サンプルキャビネット
文書のクラス	文書
文書の属性*	文書種類 (文字列) ▼
Formaアイテム*	案件名 ringl_Subject ▼

決定

3. 最後に「登録」、または「更新」をクリックして設定内容を保存します。

AccelDocuments連携設定編集

有効日付(開始)*	2015/03/01
有効日付(終了)	2015/03/31

Forma/IM-Workflow情報

アプリケーション履歴番号*	1
フォーム*	メインフォーム 5i0sn7fu883af9j ▼
項目*	ファイルアップロード cefomdqcoeca ▼
フロー*	【サンプル】案件書

AccelDocuments情報

キャビネット*	サンプルキャビネット ▼
格納先フォルダ*	サンプルフォルダ

高度な設定

フォルダ

フォルダのクラス	▼
フォルダの属性とFormaアイテム連携設定	検索 選択した設定をクリア

文書

文書のクラス	文書 ▼
文書の属性とFormaアイテム連携設定	検索 選択した設定をクリア [文書種類 (文字列)] [案件名 ringl_Subject]

更新 削除

4. 以上で、AccelDocuments 連携の連携設定の高度な設定が登録できました。
高度な設定で属性などをマッピングすると、登録されたフォルダやファイルの属性に、フォームの入力内容が連携されます。
IM-FormaDesigner のデータ型と AccelDocuments の属性の対応については、「[IM-FormaDesigner / AccelDocuments 属性対応表](#)」を参照してください。



i コラム

- AccelDocuments 連携設定で、異なるファイルアップロードアイテムに対して、全く同じ連携設定（格納先フォルダや属性の設定内容）が行われた場合のみ、同じ格納先フォルダにアップロードします。属性の内容や設定値が異なるなどの違いがある場合には、別名（末尾に連番を付与した名称）のフォルダに分けてアップロードします。
- 同じ格納先フォルダに対する、同一の案件番号・案件名で作成されるフォルダが複数になる場合、一方は()付の連番を付与した別名フォルダとして作成されます。ファイル名が重複する場合には、フォルダと同様に一方に()付の連番を付与した別名で、AccelDocuments の文書としてアップロードします。

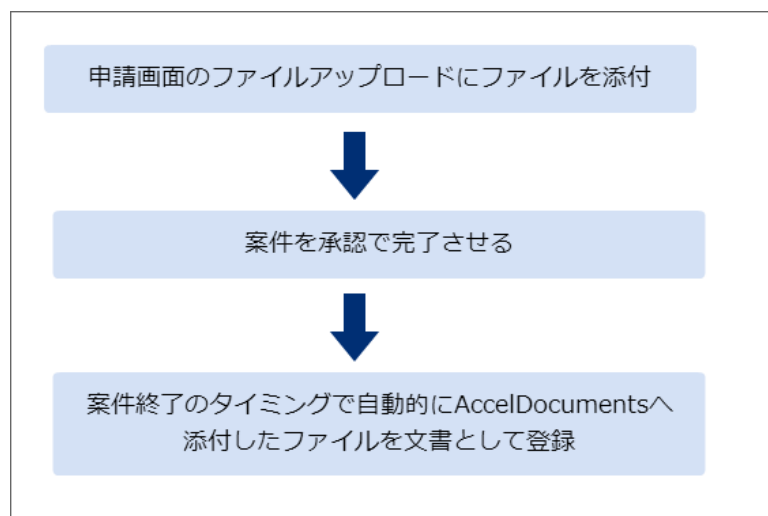
i コラム

画面アイテム「スプレッドシート」の入力値とのマッピング

- 画面アイテム「スプレッドシート」の入力値を AccelDocuments の属性とマッピングを行うには、事前にバインディング設定を行い、バインディング値DB登録を有効にする必要があります。その他の入力箇所とテーブル定義の項目は対象外です。バインディング設定については、「IM-BIS デザイナヘルプ」の「スプレッドシート」を参照してください。
- 画面アイテム「スプレッドシート」の仕様では、指定したデータ型とSpreadJSのセルの書式設定を合わせる必要があります。データ型と書式設定が異なる場合、期待されない結果や AccelDocuments の連携処理でエラーが発生する場合があります。

AccelDocuments 連携の設定を行ったフローの案件は、承認で完了すると自動的に AccelDocuments のフォルダに格納されます。

申請から案件終了時の AccelDocuments への文書のアップロードは、以下の流れで行われます。



申請画面で添付したファイルを AccelDocuments に登録する

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. AccelDocuments 連携を設定したフローの申請画面を表示し、画面に配置された「ファイルアップロード」の「追加」をクリックします。

3. 「ファイルを追加」をクリック後に任意のファイルを選択し、「開始」をクリックします。

4. ファイルアップロードにファイルを登録できましたので、その他の項目に必要な内容を入力し、「申請」をクリックします。

稟議書

稟議番号: 123456

稟議件名: ○×○様システム更改プロジェクト

支払金額: 5,000,000 円

支払方法: 現金 銀行振込 リース

稟議内容: 当プロジェクトに係るプロジェクトルーム賃賃料等の準備金

成果予測:

参考資料:

ファイル名	備考	更新日	+
○社基本契約.docx		2015/03/03	-

申請 一時保存 一覧へ戻る

5. ワークフローの処理画面で案件名等を入力し、「申請」をクリックします。

申請 [申請]

フロー

案件名* ○○プロジェクト稟議

申請者 菅柳 辰巳

申請基準日 2015/03/03

担当組織* サンプル課11

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 撤回し

申請

注意

AccelDocuments 連携を利用する場合に利用できない文字について

AccelDocuments 連携を利用する場合には、AccelDocuments でオブジェクト名に利用できない文字を案件番号や案件名、添付ファイルに指定すると、利用できない文字を含む項目自体を特定の文字列に置換して、AccelDocuments のフォルダや文書名に設定してアップロードします。

- 案件番号に利用できない文字を含む場合、フォルダ名で案件番号が表示される部分を「MATTER_NUMBER」とします。
- 案件名に利用できない文字を含む場合、フォルダ名で案件名が表示される部分を「MATTER_NAME」とします。
- ファイルアップロードに登録するファイル名に利用できない文字を含む場合、文書名で該当のファイル名が表示される部分を「FILE_NAME」とします。

AccelDocuments で利用できない文字の詳細については、「[intra-mart Accel Documents 仕様書](#)」を参照してください。

6. 承認では、内容を確認し、「承認」をクリックして案件を完了させます。

稟議書

稟議番号: 123456

稟議件名: ○×○×様システム更改プロジェクト

支払金額: 5,000,000 円

支払方法: 現金 銀行振込 リース

稟議内容: 当プロジェクトに係るプロジェクトルーム賃賃料等の準備金

成果予測:

参考資料:

ファイル名	備考	更新日
○×社基本契約.docx		2015/03/03

7. 案件の完了後に、「サイトマップ」→「AccelDocuments」→「文書管理」をクリックします。
8. 「AccelDocuments 連携設定編集」で格納先フォルダに設定したフォルダを表示します。

文書管理 - Accel Documents

キャビネット選択 キャビネット管理

ストレージ 検索 検索フォルダ タグ 通知 公開管理

サンプルキャビネット > サンプルドロー > サンプルフォルダ

一括操作... 新規登録... 表示形式...

名前	タグ	作成者	更新日時	サイズ	メニュー...
0000000009_○×××××...		青柳辰巳	2015/03/03 13...		メニュー...

コラム

AccelDocuments にアップロードする際には、指定したドロー・フォルダの配下に、「案件番号_案件名」でフォルダを新規作成した上でアップロードを行います。

9. 「案件番号_案件名」で命名されたサブフォルダをクリックすると、ファイルアップロードで登録したファイルが登録されていることが確認できました。

文書管理 - Accel Documents

キャビネット選択 キャビネット管理

ストレージ 検索 検索フォルダ タグ 通知 公開管理

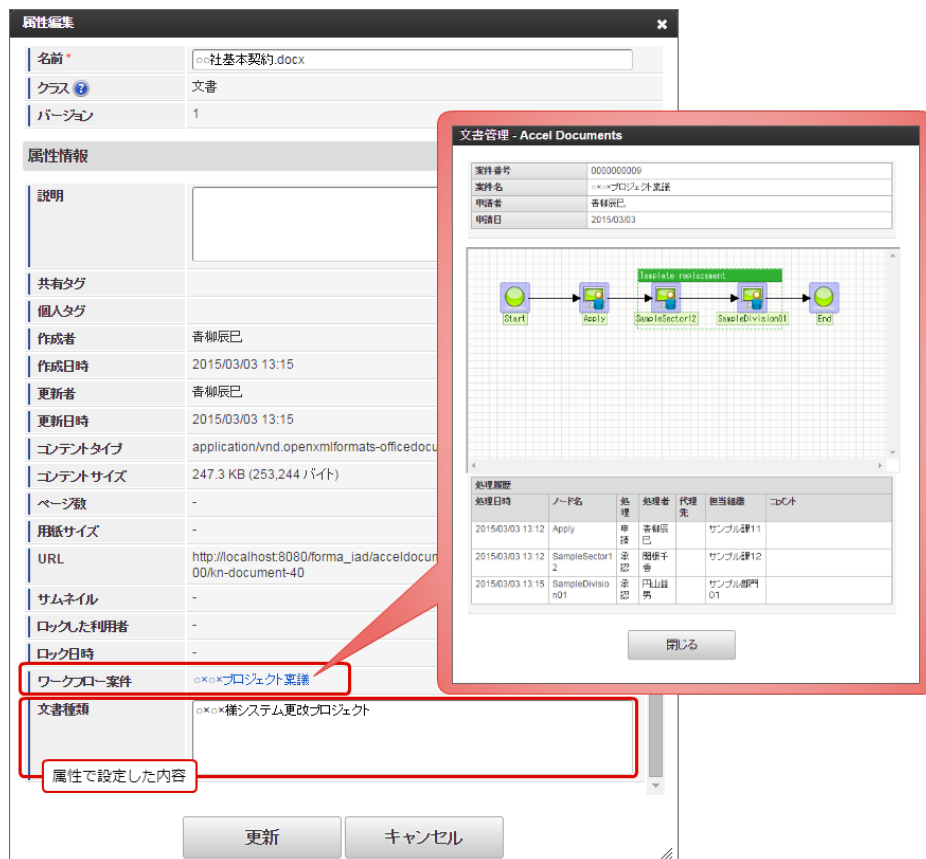
サンプルキャビネット > サンプルドロー > サンプルフォルダ > 0000000009_○×××××プロジェクト稟議

一括操作... 新規登録... 表示形式...

名前	タグ	作成者	更新日時	サイズ	メニュー...
○×社基本契約.docx		青柳辰巳	2015/03/03 13...	247.3 KB	メニュー...

ファイル名	備考	更新日	+
○×社基本契約.docx		2015/03/03	-

10. 属性編集で、アップロードされた文書の属性を表示すると、連携したワークフローの案件のフロー図へのリンクや、高度な設定で設定した属性に IM-FormaDesigner で入力した内容が設定されていることが確認できます。



コラム

AccelDocuments 連携設定の有効期間

AccelDocuments 連携では、ファイルのアップロードは、「案件終了日（システム日付）」が「連携情報の有効期間内」となっている場合に実行されます。

連携情報で設定する有効期間は、案件終了日との比較のみに利用されており、ワークフローの申請基準日ではありませんので、注意してください。

IM-FormaDesigner / AccelDocuments 属性対応表

AccelDocuments ファイルアップロード連携機能における、AccelDocuments の属性との対応表です。
[AccelDocuments 連携管理画面の高度な設定](#) で、フォーム上のアイテムと AccelDocuments の属性をマッピングする場合の、IM-FormaDesigner での対応するテーブルのデータ型と AccelDocuments での属性と属性値は、以下の表の通りです。

IM-FormaDesigner	AccelDocuments	
データ型	属性	属性値
文字列	文字列	STRING
数値	固定小数点	BIGDECIMAL
日付	日時	DATE

AccelDocuments 連携の設定情報のエクスポート

AccelDocuments 連携の設定情報のエクスポート・インポートを行う場合には、設定情報は「アプリケーションのインポートファイル」に含まれます。

アプリケーションのインポート・エクスポートについては、「[IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)」の「インポート・エクスポートを利用した IM-FormaDesigner のアプリケーションやデータソース定義の移行」を参照してください。

AccelDocuments のキャビネット等のインポート・エクスポートについては、「[intra-mart Accel Documents インポート・エクスポートガイド](#)」を参照してください。



注意

AccelDocuments 連携が設定するコンテンツ定義のユーザプログラムについて

AccelDocuments 連携を設定した IM-FormaDesigner のアプリケーションから作成したコンテンツ定義は、コンテンツ定義のバージョンが新たに登録された場合には、再度 AccelDocuments 連携設定登録画面で「更新」をクリックすることにより、コンテンツ定義に自動的に必要なユーザプログラムを設定します。

AccelDocuments 連携を設定したコンテンツ定義にバージョンを追加し、対象の画面を IM-FormaDesigner から他の開発モデルに変更した場合であっても、コンテンツ定義に AccelDocuments 連携のユーザプログラムが設定されますが、案件終了時に正しく動作しませんので、注意してください。